

赤潮情報第57号

（八代海：シャットネラ属 警報 続報、カレニア ミキモトイ 警報 続報）

熊本県水産研究センター 浅海干潟研究部

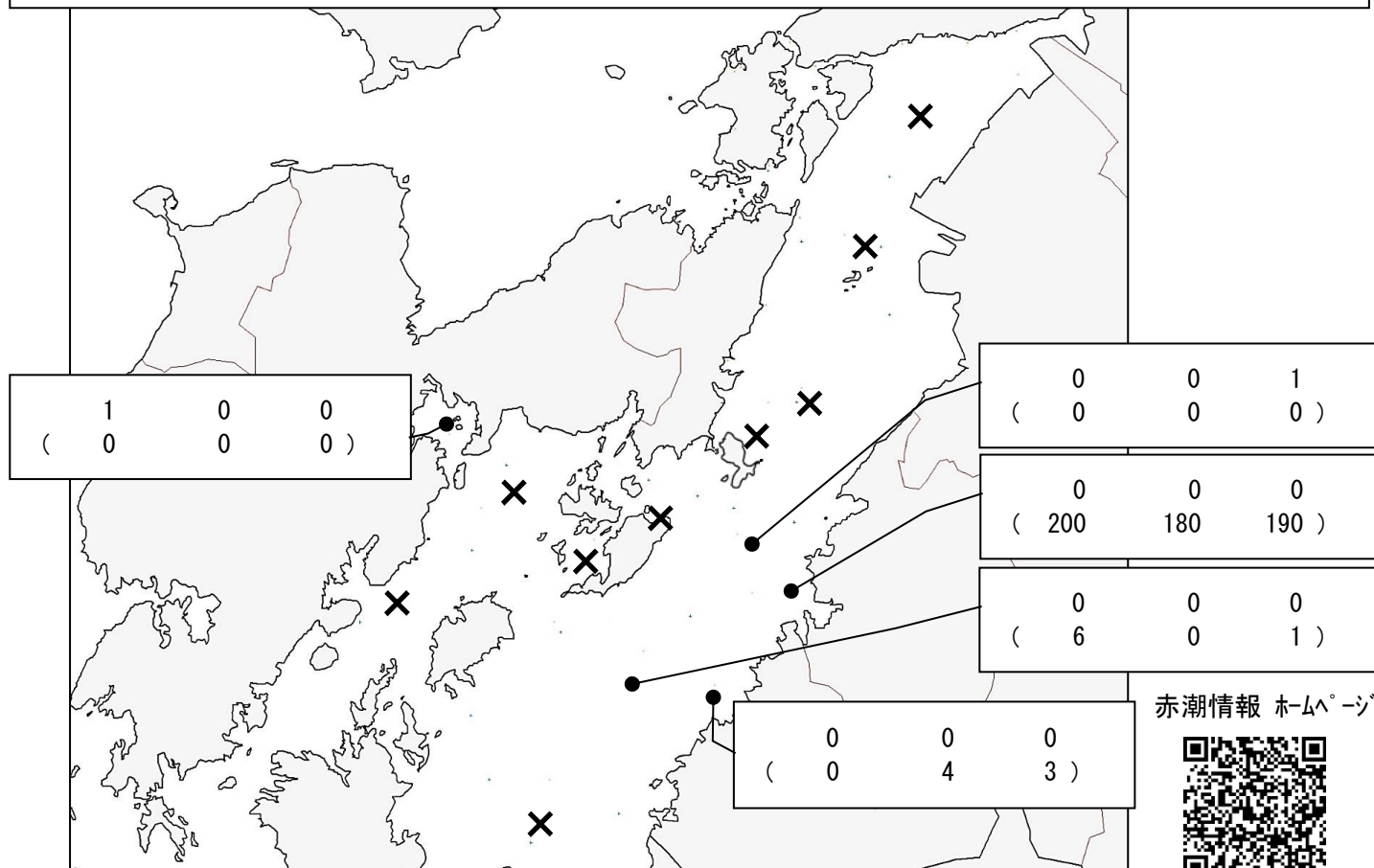
TEL0964-56-2613 FAX56-4533

カレニア ミキモトイが200細胞 確認されており、引き続き警戒が必要です。

本日、熊本県が調査したところ、カレニア ミキモトイが海水1mL当たり最大200細胞、シャットネラ属が最大1細胞、確認されました。海況によって、増殖するおそれがありますので、引き続き警戒が必要です。

これらの種は有害で、魚介類がへい死する恐れがあります。周辺海域で魚介類の養殖、蓄養等をされている方は、海の色の変化や養殖魚等の状態に十分注意するとともに、必要に応じて餌止めや赤潮駆除剤散布等の対策を行ってください。

※数字は水深0m, 5m, 10m層の海水1mL当たりのシャットネラ属の細胞数、()の数字はカレニア ミキモトイの細胞数、
×印:全ての採水層で有害赤潮プランクトンが0細胞の調査点です。



赤潮情報 ホームページ



赤潮ネット



図 赤潮発生海域

調査結果については、赤潮情報 ホームページや赤潮ネットでも確認できますので、ご利用ください（ホームページの更新に時間を要する場合があります）。

赤潮情報 ホームページ <https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/95/1794.html>

赤潮ネット https://akashiwo.fra.go.jp/public/kaikuInit.php?qkaiku_id=1&sid=1